青空文庫（1）「吾輩は猫である」（13）夏目漱石　　月　　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

縁もいつまでたっても不思議な垣がものの破れでいる。

はなしかつてたはいつの竹ら、吾輩は

一本もいかに路傍に餓死する

樹のもの知れんのにで

の陰とはよく云

だ。

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.